

VAITRIX社製 DIGIPEDAL.COMANDER 取扱説明書

製品と各モードの特徴

- ・電子スロットルのモタつきを解消し、アクセルのリニア感を演出します。
- ・アクセルを踏んだ量に対してのスロットル開度信号を変更する製品です。馬力・トルクが向上する製品ではありません。電子スロットルをキャンセルする製品ではありません。
- ・ガソリン・ディーゼル・LPG・ハイブリッドカーの12V車に対応しています。24Vは対応していません。
- ・ボタン操作を無効化するロックモードがあり、ボタンを5秒間押すという簡単な操作で設定可能です。
- ・設定は製品を外すか車両のバッテリーがなくなるかしない限りメモリーされています。
- ・モニターにアクセル開度が10段階で表示されます。(SP+モードでは表示されません。)
- ・クルーズコントロールを使用する際はSTDモードでお使いください。

SPORT: スポーツモード。上り坂や山道、サーキット向けです。13段階調整可能。

STD: STDモード。車両のノーマル状態です。電圧が数字で常に表示されます。

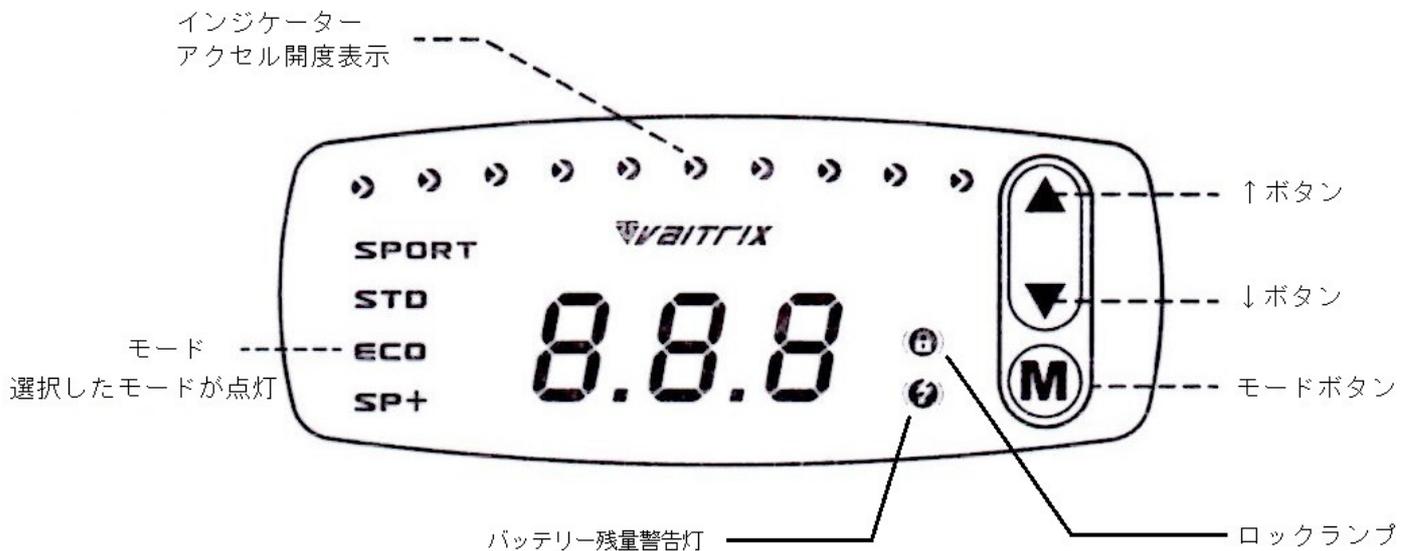
ECO: エコモード。街乗り向けで燃料消費を抑えられます。7段階調整可能。

SP+: いわゆるスクランブルモード。10秒間だけ作動し、常にスロットルが開いている状態になります。必ず広く安全な場所を選択してください。モード切替した約1秒後に作動し、ペダルを踏んだ量に対して大幅にスロットルが開き、アクセルオフ時の回転落ちも緩やかになります。

※注意※

※操作によってはエンジンチェックランプが点灯する場合があります。対策できる準備をして取付にあたってください。

※本体の電源が切れていない状態で絶対に製品を取り外さないでください。



インストールガイド

・エンジンチェックランプが点灯しないようにするために、エンジンを止め(アクセサリもオフにした完全なオフ状態)、少なくとも10分間待ってからアクセルペダルのコネクタを抜き、製品のコネクタをアクセルペダルにさしてください。スマートキー装着車の場合、運転席のドアを開けた状態でスマートキーを作動範囲外に10分以上置いてから製品の取付を行ってください。

・コントロールボックスを高温になる場所、アンテナなどの電波の影響を受ける物の近く、安全上問題のある場所に置かないでください。

・取付部分の油分や汚れを取り除き、同封の両面テープが確実に粘着するようにしてください。運転中にこれらが落下して故障する恐れがあります。

1. モニターをコントロールボックスに接続。

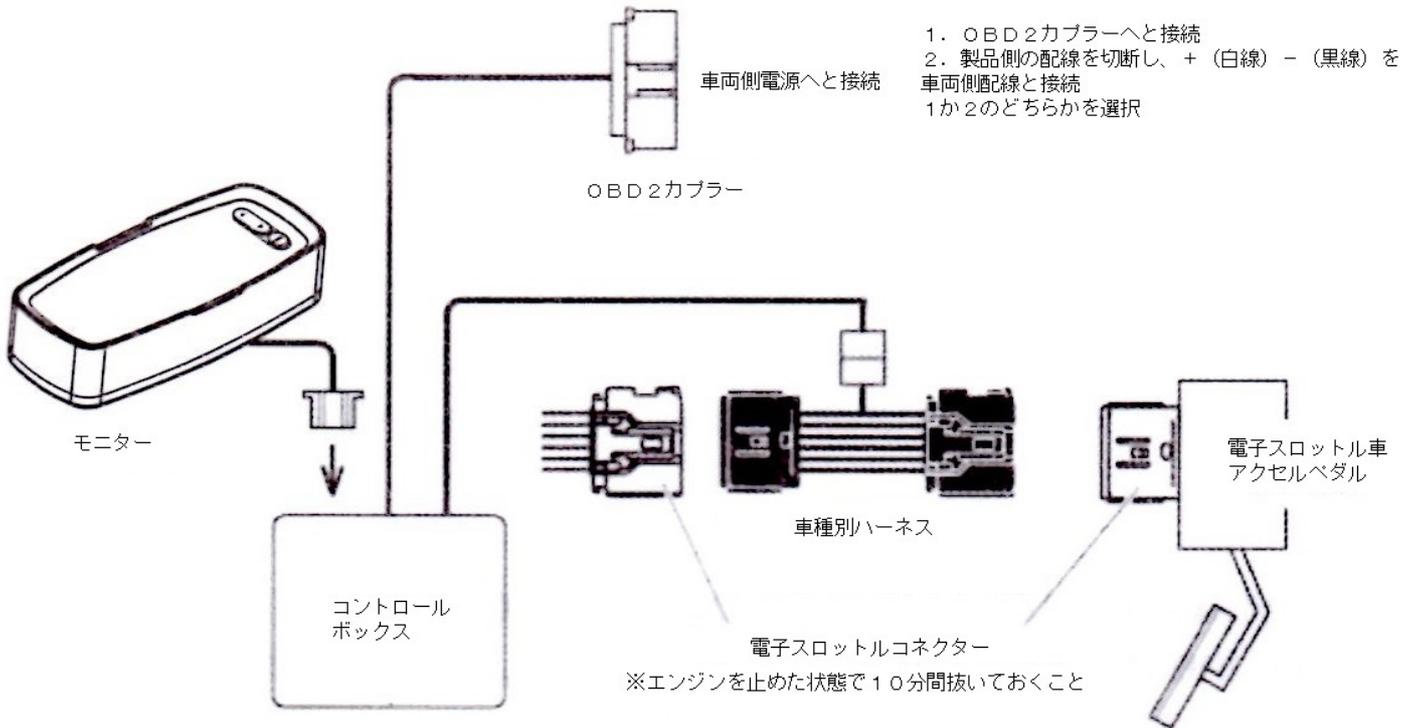
2. コントロールボックスにOBD2カプラーを接続し、OBD2カプラーを車両側に接続する。

※必ずOBDカプラーを掴み、正しい向きで接続すること。配線を持って作業した場合配線が切れる恐れがあります。

3. コントロールボックスに車種別ハーネスを接続し、アクセルペダルのカプラー間に接続する。この時、接続したカプラーを絶縁テープで巻き、固定することを推奨します。

※あらかじめ必ず10分間カプラーを抜いておくこと。

本体の電源のオン/オフはキーのオン/オフに連動し、車両側のバッテリーに依存します。



初期設定(アクセルペダルポジションとスロットルポジション)について

本製品を初めて車両に取り付ける際にはアクセルペダルポジションとスロットルポジションの初期設定が必要です。また初期設定後に別車両に装着した場合も同じく初期設定が必要です。初期設定が完了すると製品は車両ECUに適合し、電子スロットルおよびアクセルペダル信号を操作します。

1. ケーブルとコネクターが接続されていることを確認してください。
2. イグニッションオン状態(エンジンはかけない)にし、ギアをPまたはNポジションに入れてください。
3. エンジンをかけずに製品の電源がオンになると、STDモードになりますので、モニター左側に「STD」の表示が点灯するのを確認してください。
4. モードボタン(「M」ボタン)を押し続けると、モニター上側にインジケータランプが10個順番に点灯していくのを確認してください。点灯後、10個のランプが消えるのでモードボタン(M)を離します。そうするとモニターに「L」と「数字」が点滅します。この時点までアクセルペダルを一切操作しないでください。
5. モードボタンを一回だけ押し、モニターに「H」と「数字」が点滅するので確認してください。
6. アクセルペダルを全開まで踏み込んでください。モニターに「H2.0」～「H4.6」間の数字が表示されるのを確認してください。
7. アクセルペダルを全開で踏んだまま、モードボタン(M)を一回だけ押します。初期設定が完了した場合、モニターに「—」(ダッシュ記号)が表示され、STDモードの通常表示である電圧が表示されます。「—」が表示されない場合でも電圧表示になった場合は初期設定完了です。初期設定がうまくいかなかった場合「L」と「数字」の表示が

点滅され、4を終わらせた状態へと戻ります。再度操作をして初期設定を完了させてください。

※新品開封時にSTDモードではモニターに「USE」と表示されます。製品の設定がされると次回以降「USE」の表示はされなくなります。

動作確認

初期設定完了後、走行前に必ず行ってください。この動作確認をせずに起きた事故・故障等について当方では一切責任を負いません。またこの際にバッテリー残量警告灯(雷マーク)が点灯した場合、バッテリーの残量不足・劣化、車両のトラブル等でバッテリー残量が少なくなっています。バッテリーを充電するか車両をチェックして製品をお使いください。

1. モードボタン(M)を押し「SPORT」(スポーツモード)にし、アクセルペダルを踏んでいな状態にしてください。アクセルペダルをゆっくり全開まで踏み込み、モニター上側のインジケーターがランプが10個順番に点灯していくのを確認してください。

点灯しない場合、アクセルペダルが全開になっていない状態でもインジケーターが10個点灯した場合、アクセルペダルを踏んでいない状態でインジケーターが一つでも点灯している場合は初期設定ができていない恐れがあります。再度初期設定を行ってください。

※モニターにエラー(Err)が点灯している場合、初期設定ができていません。もう一度初期設定を行い、必ず初期設定・動作確認を完了した状態で本製品をお使いください。

2. 初期設定・上記の動作確認を完了後、エンジンをかけます。モードボタン(M)を押し、「SPORT」、「STD」、「ECO」、「SP+」各モードに切り替わることを確認してください。エンジンをきっても選択したモードは保存され、再びエンジンをかけた際には最後に選択したモードとなります。

各モードのパフォーマンス変更

・「SPORT」「ECO」では各モード選択時に「↑」「↓」ボタンを押すことでパフォーマンスを変更できます。このパフォーマンス変更をすることで、ペダルを踏む量に対してのエンジンスロットル開度を変え、ご希望のリニア感に自由に設定することができます。数字が大きいい程、性能がいいというわけではないので、各々の感覚でベストな設定にしてください。「SPORT」モードは数字が大きくなる毎に、ペダル踏力に対してのスロットル開度が大きくなります。「ECO」モードは数字が大きくなる毎に、ペダル踏力に対してスロットル開度が小さくなります。

・「STD」「SP+」にパフォーマンス変更はありません。「STD」モードでは「↑」を5秒間押すことでロックモードとなり、再び「↑」を5秒間押して解除するまで操作を受け付けません。「SP+」モードを選択した際にはモニター上側の10個のインジケーターが1秒毎に1個消灯していき、10秒間のカウントダウンをします。「SP+」モードは必ず広い安全な場所を選択してください。

トラブルシューティング

1. イグニッションオン状態なのに、製品が機能していない・モニターに何も表示されない。

原因:製品の各コネクタが正しく接続されていない、もしくは各配線に不良がある。

解決策:各コネクタと各配線を確認し、製品の電源が入ることを確認してください。

2. エンジンチェックランプが点灯した。

原因:製品の電源が切れる前(エンジン・アクセサリともにオフ状態になっていない)にコネクタを抜いた可能性が高い。

解決策:OBDスキャンツールを用いてエラーコードを診断し、問題がなければエンジンチェックランプを消灯させてください。

原因:初期設定をせずに使用した。

解決策:OBDスキャンツールを用いてエラーコードを診断し、問題がなければエンジンチェックランプを消灯した後、初期設定を必ず行ってください。

3. 初期設定時、または操作時にモニターにエラーインジケーターが常に表示される

原因:アクセルペダルポジションかスロットルポジションの信号を受信できていません。

解決策:各コネクタが正しく接続されているか確認してください。

4. モニターに何も表示されない

原因:製品の誤作動によって発生する場合があります。この状態ではスロットル制御はノーマル状態(製品で一切制御をしていない状態)に自動的に切り替わっております。

解決策:製品をリセットし、各接続と配線を入念に確認してください。場合によっては初期設定をやり直す必要があります。

テクニカルサポート

・取付および設定が原因でエンジンチェックランプが点灯した場合、以下の手順に従って消すことができる場合があります。

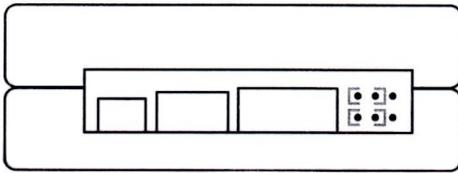
1. 通常どおりエンジンのオン/オフを数回繰り返す。自動的に消える可能性があります。
2. 車両のバッテリーからマイナス端子を10分程外す。端子を再び接続し、エンジンをかけた際に消える可能性があります。
3. OBDスキャンツールを使用して消すことができる場合があります。

・OBDカプラー以外から電源を取る場合は、製品側のOBDカプラー配線を切って電源を接続してください。配線は白がプラス(+)、黒がマイナスマイナス(-)となります。

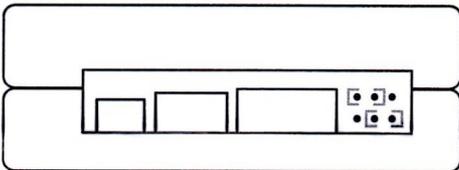
・並行輸入車等で車両の販売国によってはECUとアクセルペダルの仕様が違う場合があります。その際はコントロールボックスにあるジャンパースイッチの切り替えを行って初期設定をしてください。その際はジャンパーキャップを差し替える必要があるので、慎重に作業してください。

※日本仕様として販売された車両では一切使用しません。

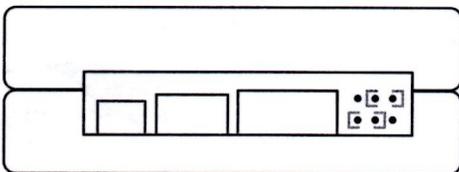
タイプ0:出荷時の設定でこれが基本になります。上下列とも左側2本にキャップがついています。



タイプ1:「H」の数字が2.5未満の場合、下列のみ右側にキャップをつけます。



タイプ2:「H」の数字が2.5以上の場合、上側のみ右側にキャップをつけます。



返品および交換について

製品の保障期間内(一年)に製品不良があった場合、部品を全て送り返して頂き、こちらで不良が確認出来次第、交換品をお送りいたします。送り返す時の送料はお客様負担でお願いします。